

2-1-3)

計画の内容と参加方法

NPO 法人オリザネット
斉藤光明



田んぼの生物多様性向上 10 年プロジェクト行動計画 2013 は、愛知目標と水田決議に基づいてつくられた 18 の水田目標の達成する方法についてまとめられたものです。

全部で 20 ある愛知目標から見ると、田んぼの生物多様性が含まれる、農業生物多様性の領域は、愛知目標 7 になりますが、田んぼの生物多様性を向上させるには、普及啓発（1）、各種計画への組込み（2）、補助金奨励処置（3）ほか、20 ある愛知目標のほとんどの目標内容に関する活動を展開しなければなりません。田んぼに特に関係しないのは、海の過剰漁獲を問題にしている愛知目標 6 やサンゴ礁などの脆弱な生態系の保護を対象にしている目標 10 くらいです。

今回は、現場で進める水田の生物多様性の具体的な対応策を紹介します。愛知目標の 1、7、8 に関する、水田目標 1、7、8 を達成する方法です。

【水田目標の 1、7、8】

- ・水田目標 1：水田の生物多様性向上に関する広報、教育、普及啓発を推進（普及啓発）
- ・水田目標 7：水田の生物多様性が向上するよう農業が行われる地域を持続的に管理する
(1 次産業の営み)
- ・水田目標 8：不適切な農薬や化学肥料等の使用による汚染から水田の生物多様性の損失を防止する
(化学汚染)